

北海道善行賞表彰

士幌町カトレアの会

佐藤 妙子

この度は北海道善行賞を頂き、ありがとうございます。この賞を受賞出来たのは両親、妹、周りの皆様のお力によるものだと思います。仕事で帰宅が遅く、土曜日や日曜日仕事に代わり子供達を見てくれ、部活や少年団の送迎、応援、参観日や行事にも共に参加して、共に育ててくれて感謝しています。

我が家には高等技術専門学院に通う19歳の娘と中学生の息子がいます。娘は将来に向かって電気工学科で学び、彼女以外は全員男子の環境で日々頑張っています。息子は中学入学から始めた吹奏楽部で毎日楽しく活動しています。表彰式には娘と参加したかったのですが、学校を休めなかった為、



自動車ディーラーで働いています



子ども達とファイターズ観戦



代わりに妹と一緒に来てくれました。鈴木知事と写真撮影出来た事はとても嬉しく記念になりました。娘は大変残念がっていました。

式の後には受賞者の方々とお話しする場を設けて頂き、皆様の仕事の事や今後のアドバイス等も聞けて有意義な交流が出来ました。これからも周囲の方々に助け頂きながらの子育てになります。が、助けてくれた方や地域に恩返しが出来る様元気で楽しく過ごしていこうと思います。

奨学金を受給して

消防士として地域を守る

函館市 若山 唯平

私は弟が3人いて、4兄弟を母が一人で育ててくれました。

小学校1年生から続いていたサッカーを、レベルの高い環境でやりたいと地元ではない高校へ進学したいと悩んでいたら「真剣にやるなら応援する」と母は背中を押してくれました。函館を離れて苦小牧の高校へ進学し大好きなサッカーに打ち込めたのは、北海道母子寡婦福祉連合会のご支援と母や祖母、弟達の応援のおかげで頑張る事が出来ました。実家ではなく下宿生活を送っていたので、

頂いていた奨学金は大変助かり生活ができました。

高校サッカーで目標だった全国大会に手が届かず悔しさは今でも覚えてい



サッカーに打ち込んだ高校時代



1回 全国消防救助技術大会
全国消防救助技術大会に北海道代表として出場
祖母・母・妻が応援に来てくれました



消防訓練の様子

ます。高校卒業後は地元函館に戻り、消防士になり家族を支えて行こうと考え勉強し、合格した時、みんな喜んでくれました。

函館市消防本部が全国消防救助技術大会へ出場した時、メンバーとして参加して貴重な経験ができました。火災や災害は無いのが一番ですが、もしもの時の為に訓練や体力トレーニングをし、消防士として、結婚したお嫁さんや母、祖母が暮らす函館の安全を守って行こうと思います。